

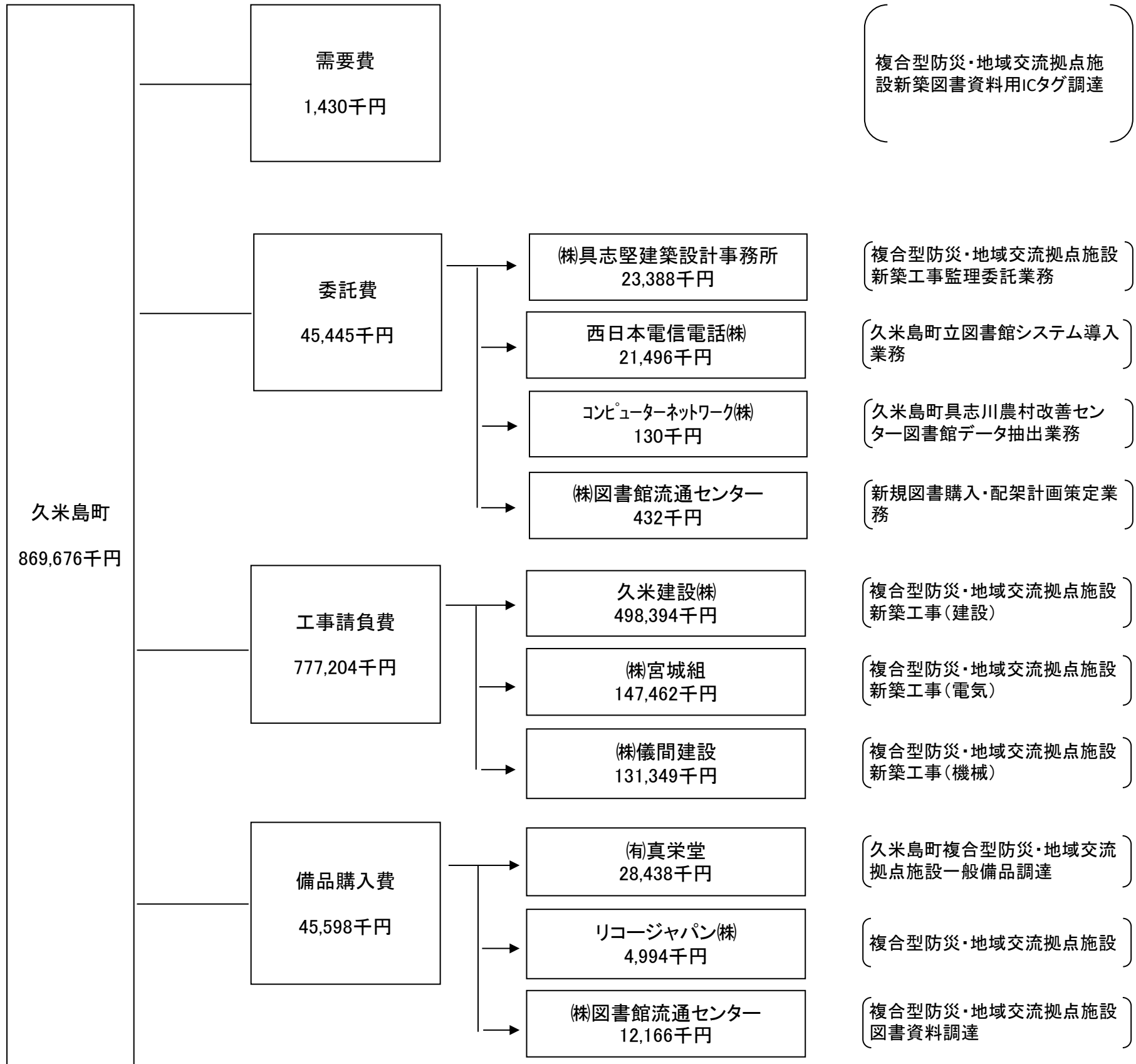
市町村名	久米島町						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部課名	企画財政課、建設課、教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9		
事業内容	災害時は、住民及び観光客等が安全に避難生活をおくれる避難所として、平時は地域の交流拠点として利用できる施設の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度 (R2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)
		(b)予算現額	17,000	113,879	-	964,481	-
		(c)増減額(b-a)	18,850	119,020	-	908,715	-
		(d)繰越額	1,850	5,141	-	▲ 55,766	-
		A.計(b+d)	0	0	41,844	0	603,330
	B.執行済額		18,850	77,176	37,863	305,385	564,291
	うち交付金充当額		15,080	61,740	30,290	244,307	451,433
	次年度繰越額		0	41,844	-	603,330	-
	執行率(%) (B/A)		100.0%	64.8%	90.5%	33.6%	93.5%
	予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事及び機械設備工事を着手、工期末に建築工事及び機械設備工事件に変更協議(精算)の結果増額契約締結。執行残事業費を減額した。 ・ 公共及び民間工事の集中し重なったことにより、建設工事に携わる労務者の不足により手配調整に不測の日数を要したため603,330千円を次年度へ繰越をした。 ・ 当初計画していた一部を繰越したが工事はすべて完了した他、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 				
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	建築実施設計	目標	(実施設計)	()	()	()	
		実績	実施設計完了				
	用地造成実施設計	目標	(実施設計)	()	()	()	
		実績	実施設計完了				
	建築工事	目標	(工事完了)	()	()	()	
		実績		工事完了			
	機械設備工事	目標	(工事完了)	()	()	()	
		実績		工事完了			
	備品購入	目標	(完了)	()	()	()	
		実績		完了			
	図書システムの構築	目標	(完了)	()	()	()	
実績			完了				
達成状況説明	平成29年度に策定した基本設計を踏まえ、平成30年度は実施設計(土木)・(建築)を完了した。しかし、造成工事においてはR1年度に一部繰越し、5月末に完了した。 令和元年度において、建築工事、機械設備工事を着手、一部を令和2年度に繰越し8月中旬に完了。						

R1成果目標（指標）		基準値 （年度）	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 （2年度）
		目標	()	(完了)	()	()
拠点施設の実施設計の完了	実績		完了			
	目標	()	(完了)	()	()	()
建築工事の完了	実績			完了		
	目標	()	(完了)	()	()	()
機械設備工事の完了	実績			完了		
	目標	()	(完了)	()	()	()
備品購入の完了	実績			完了		
	目標	()	(完了)	()	()	()
図書システム構築の完了	実績			完了		
	目標	()	(完了)	()	()	()
【R2成果目標】 （災害時） ・施設を利用した避難訓練（2回/年（うち観光シーズンの実施1回））を実施し、安全・確実に避難できたか（80%以上）を訓練参加者に対するアンケート調査により確認するなどし、当該施設のあり方について検証する。	目標	()	()	(2回 80%以上)	()	(2回 80%以上)
	実績			0回		
【R2成果目標】 （平常時） ・施設の年間利用者数 延べ3,800人以上（図書館、学習室（町営塾）の利用者総数）	目標	()	()	(3,800人 以上)	()	(3,800人 以上)
	実績			6,693人		
【R2成果目標】 （平常時） ・図書館の年間貸出冊数44,300点以上	目標	()	()	(44,300点 以上)	()	(44,300 点 以上)
	実績			8,536点		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度において、建築工事、機械設備工事を着手、一部を令和2年度に繰越し8月中旬に完了、10月末より供用開始。 複合施設内の図書館と学習室（町営塾）の利用者数は目標人数を上回った。 年間貸出冊数は、開館が当初より3ヵ月遅れ10月末となり、小中高等学校の夏休み期間に開館できなかったため、目標値を大きく下回り約19%の達成率となった。 コロナウイルス感染拡大及び供用開始遅れに伴い、避難訓練を行うことができなかった。 					

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	（避難訓練） ・コロナウイルス感染拡大及び供用開始遅れに伴い、避難訓練を行うことができなかった。 （年間利用者数） ・利用者数が上回ったことについて、開館が予定より遅れたものの、本施設に対する認知度や期待度の高さが利用者数が増えた要因と考えられる。 （貸出冊数） ・貸出冊数が下回ったことについては、図書館利用者数と貸出可能な図書資料数をどう増やすかが課題である。	（避難訓練） ・コロナウイルス感染拡大の可能性も踏まえ、関係機関や地域住民と連携し、実施可能な図上訓練や避難所開設訓練を行う必要がある。 （年間利用者数） ・本施設の認知度向上や利用方法の周知について、町ホームページや広報誌を活用し、利用促進を図る必要がある。 （貸出冊数） ・積極的に図書資料を調達や図書受入を行い、蔵書数を充実させる必要がある。
今後の取り組み方針		
	（避難訓練） ・コロナウイルス感染拡大に伴い、避難訓練が実施できないことを想定し、図上訓練マニュアルを作成する。 ・施設を活用した避難訓練や安全・確実に避難できたかを検証するアンケート調査を実施し、アンケート結果に基づき施設の適切な維持管理に努め、利用促進につなげる。 （年間利用者数） ・町ホームページや広報誌を活用し広報に努め、施設の更なる利用促進を図っていく。 （貸出冊数） ・積極的に図書資料を調達するとともに、図書寄贈を呼びかけ蔵書数の充実に努める。	

資金の流れ

総事業費	交付対象事業費	交付対象事業費		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
869,676	869,676	695,740	173,936	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の約4%以内であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	